



ポーっと生きていませんか？

酷暑にも負けずみんな休まず夏期講習に通ってくれましたが、1回だけは台風による臨時休講がありました。幸い、それほど風雨は強くなく昼間の中3の授業の休講はありませんでした。急な連絡に comiru の一斉送信メールを使ってみました。さほどの混乱もなくうまく伝わりました。9月1日は防災の日ですが、今後も comiru システムや171の災害伝言ダイヤルを活用していくつもりです。

ところで、ナイナイの岡村司会の NHK のクイズ番組「チコちゃんに叱られる！」を知っていますか。自称5歳の着ぐるみチコちゃんから出される素朴な問いに毎回ゲストがしどろもどろになり、『ポーっと生きてんじゃねーよ！』と叱られるパターン。最近では、「学校の夏休みは何のためにある？」という問いに「先生が勉強するため」というのが正解でした。（先生も最近は大変）

この番組が受けている理由を立教大の片上教授は「与えられた問いにうまく答えることばかりが重視される時代、肝心の問いを立てることの大切さを伝えている。ネットで検索すれば簡単に答えが見つかるが、前提に『いい問い』が大切。チコちゃんはそのをおろそかにしている現代人に強いメッセージを発している。」と分析しています。この番組を NHK から請け負っているスタッフも苦労を重ねた上でキーパーソンを探り当て、みんなが「そうだったのか！」と思わずうなる回答にたどり着くのでしょう。

さて、せっかくの「なぜ、どうして」という問いを大人がつぶしてしまっていることはないでしょうか。小さい時に親や学校の先生から「そんなつまらない質問はするな。」とか「そう決まっているものなの。」と言われ続けたら、「問いの力」は育たないでしょう。もちろん大人の側からしてみれば、「常識がなさ過ぎる」「自分で調べるということを知らないのか」と思われる場面も多々あります。（塾の現場では毎日何回も思ってしまう。）しかし「自分も知らなかったし、考えてみたこともなかったな。」というキラリと光る問いもあつたりします。そんな時一緒に考えてみるのもいいのでは…。